

第七屆臺灣大學・名古屋大學研究生論文發表會 「人文學諸課題之探討」



2020年12月4日第七回臺灣大學・名古屋大學研究生論文發表會「人文學諸課題之探討」，於臺灣大學共同教學館採視訊連線方式進行，由本中心、名古屋大學超域文化社會中心、臺灣大學日本語文學系共同舉辦。

2020年12月4日、台湾大学日本研究センター・名古屋大学超域文化センター及び台湾大学日本語文学系の共同主催により名古屋大学・台湾大学第七回大学院生研究交流集会「人文学諸課題へのアプローチ」がオンライン形式で開催された。

2020/12/04 五
[13:00~17:20]
臺灣大學
共同教學館401

第七屆
臺灣大學・名古屋大學
研究生論文發表會
人文學諸課題之探討

名古屋大學 招請
江山 / 「理想」の結婚の力学—「あはれ人妻」をめぐって
勝部美星 / 抵抗を読むとく—森茉莉「恋人たちの森」の同性愛表現
王 馨怡 / 現代日本映画における障害と健常の境界線
大江光子 / 語りの形態から見るホステスの自己語り

臺灣大學
徐 柏園 / コーパスから判る「やばい」の意味とその変遷
趙 君敏 / 現代日本製大衆業における商品名の一考察—音韻構造の観点から

報名網址：http://cjs.ntu.edu.tw/news_20201204.html

主辦 | 臺灣大學日本研究中心 / 名古屋大學超域文化社會中心 / 臺灣大學日本語文學系



▲林立萍主任開幕致詞



▲飯田裕子教授閉幕致詞

第7回台湾大学・名古屋大學大学院生研究論文発表会 「人文学諸問題へのアプローチ」

2020.12.04

22



▲學生提問



開幕式由本中心林立萍主任致詞，表示本次發表會由於受到新冠肺炎疫情影響，改以視訊連線方式舉辦，但學術交流的目的和成果沒有改變，做為一個新的嘗試也有其必要。希望各位研究生能把握機會，將獲得的經驗活用於今後的研究。本次共有六位研究生發表，主題橫跨文學、文化、映像、性別等領域，在有限的時間與空間中完成了一場多彩的發表會。

名古屋大學超域文化社會中心主任飯田裕子教授於閉幕式時表示：「本次的論文發表不僅領域多元且內容豐富，評論老師們也提出了有益的建議，作為一介聽眾受益良多。這次線上發表會的成功相信也為明年發表會的舉行奠定基礎，期待明年發表會再次與各位見面」為本次的發表會作結。◆

開會式では本センター主任林立萍教授より挨拶が行われた。「今回はコロナの影響で、オンラインと対面を並立する形式で開催することになった。少し不便かと思いますが、学术交流の目的や成果は変わらないし、一つの新しい試みともなると思います。研究会での発表は院生にとって、学位論文を作成する一つの通過点であるので、今回は学位論文の完成に向けた大事な一歩だと思います」と述べた。今回は6人の院生による発表が行われ、テーマは文学・文化・映像学・ジェンダーなどの分野にわたり、時間と空間の制限を越えて多彩な発表会となった。

閉会の挨拶は名古屋大学超域文化社会センター長飯田裕子教授より行われ、「それぞれに興味深く熱意ある発表を伺うことができ、先生方のコメントも非常に有益で勉強になりました。空間的な距離に関係なく、今回の会議を開くことができたことを次回に繋げて、来年も楽しみにしています」と締め括った。◆

第七屆臺灣大學・名古屋大學研究生論文發表會 「人文學諸課題之探討」

23

第七屆 臺灣大學・名古屋大學研究生論文發表會 議程

論文發表（一）

發表者：江山（名古屋大學人文學研究科日本文化學修士課程）

題目：「理想」の結婚の力学——『あはれ人妻』をめぐって

評論人／コメンテーター：洪瑟君（臺灣大學日本語文學系副教授）

發表者：勝部美星（名古屋大學人文學研究科日本文化學修士課程）

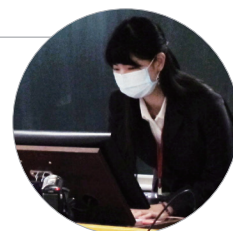
題目：抵抗を読みとく - 森茉莉「恋人たちの森」の同性愛表象

評論人／コメンテーター：河西秀哉（名古屋大學人文學研究科日本史學准教授）

發表者：徐柏茵（臺灣大學日本語文學系碩士班）

題目：コーパスから伺える「やばい」の意味とその変遷

評論人／コメンテーター：杉村泰（名古屋大學人文學研究科應用日本語學教授）



論文發表（二）

發表者：王馨怡（名古屋大學人文學研究科映像學修士課程）

題目：現代日本映画における障害と健常の境界線

評論人／コメンテーター：曹景惠（臺灣大學日本語文學系副教授兼日本研究中心執行委員）

發表者：趙君敏（臺灣大學日本語文學系碩士班）

題目：現代日本製大衆薬における商品名の一考察 - 音韻構造の観点から -

評論人／コメンテーター：宮地朝子（名古屋大學人文學研究科日本語學教授）



發表者：大江光子（名古屋大學人文學研究科性別學博士課程）

題目：語りの形態から見るホステスの自己語り

評論人／コメンテーター：田世民（臺灣大學日本語文學系副教授兼日本研究中心執行委員）